


















SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会医療法人 潤心会 熊本セントラル病院

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																											
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17											
																																	
組織・公正な取引	1	【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内共有、実践している。	●		「For the Patient」を理念として共有している。年に一度全職員に向けて方針発表を行い、また、当院のホームページに理念・方針のページを作成し、広く周知を行っている。												8	9															17
	2	【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している。	●		法令に則り規程やマニュアルを整備しており、職員全員がみることができるイントラネットに公開している。																											16	
	3	【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している。	●		病院として公正な契約を行う為に入札を行う際、仕様書以外の情報が漏れいしないよう担当職員に周知徹底している。																10											16	
	4	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当や専門部署などの体制を整備している。	●		院内に環境汚染防止委員会等の委員会を複数立ち上げ、社会・環境に及ぼす影響に対応している。																											16	
	5	【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる。	●		ホームページやパンフレット等の発行物について、総務課広報担当にて知的財産の侵害にあたらないか内容の確認を行っている。													8.2	8.3	9													
	6	【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している。	●		個人情報保護に関する研修を行っている。また規程やマニュアル等を全職員がみることができるイントラネットに公開し、個人情報漏洩防止に努めている。																										16		
	7	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している。(※利害関係者:消費者、投資家等及び社会全体)	●		「患者サポート会議」を設置し、患者又はその家族から疾病に関する医学的な質問並びに生活上及び入院上の不安等の様々な相談、クレーム報告、患者アンケート等の内容を分析し患者支援に係る取組みの評価等を行っている。																								16	17			
	8	【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応(ハラスメント・汚職・贈収賄防止)について認識を共有し、共に取り組んでいる。	●							5									8		10		12	13	14	15	16	17					
	9	【災害や事故への備え】 ・地震や水害などの自然災害や事故などに備え事業継続計画(BCP)を策定し、訓練や見直しを行っている。	●																				11		13.1						16	17	
	10	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	●			社員総会、理事会にて事業承継に関する検討・対策を行っている。													8	9												17	
	11	【公正な貿易】 ・フェアトレード商品の調達に取り組んでいる。	●								1	2								8				12	13	14	15	16	17				
労働・人権	12	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出自などによる差別や各種ハラスメントを防ぐ体制が整備され、社内差別や人権侵害がないことを確認している。	●		職場におけるハラスメント防止に関する規程を定め、相談窓口を設置している。雇用機会において、年齢、性別、身体的障がいに関わらず平等、公平に対応している。							4.3	4.4	4.5	5.1	5.2	5.5													16.1	16.2	16.7	
	13	【労働安全衛生】 ・業務中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる。	●		リスクアセスメント作業部会を設置し、毎月作業部会議を行い、リスク軽減等に努めている。							3							8.8														
	14	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している。	●		全職員の公正な待遇を行っている。同一労働同一賃金等のガイドラインに沿った公平な待遇を行っている。								5.5						8.5		10.2	10.3											
	15	【ワークライフバランス】 ・働き方の見直し等により、過度な長時間労働を防止し、家庭と仕事の両立を図るためのワークライフバランスを推進している。	●		時間外労働の削減や年次有給休暇取得の促進を行っており、残業時間の管理をする等、働き方改革に積極的に取り組んでいる。								3		5.5					8.5	8.8		10.3										
	16	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している。	●		院内で、多様な研修会を実施している。また、学会や外部研修の受講等、各種資格の取得を推奨している。										4	5.5				8	9												
	17	【健康経営】 ・従業員が心身ともに健康を維持できるよう対策を講じ、生産性の向上等に取り組んでいる。	●		健康診断にて異常が見つかった職員への受診勧奨を行い受診率を把握している。また、腰痛教室等の研修を行っている。2022年4月に職員専用の健康管理室を設置し、専属の職員を配置している。										3					8											17		
	18	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材(女性、外国人、障がい者、高齢者等)が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる。	●		業務運営や昇格等に人種、性別等での差別的待遇はない。2022年4月時点で女性管理職の割合は、54.8%である。													4.4	5.1	5.5										16.7			
	19	【新しい生活様式への対応】 ・新型コロナウイルスをはじめとする感染症対策としても有効なテレワークや時差出勤、ウェブ会議等を導入している。	●		時差出勤、ウェブ会議等を行っている。																8	9.1		11	12								
	20	【デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進】 ・ICTやAIを活用したデジタル化やオンライン化等のDXの推進により業務の効率化やビジネスモデルの変革に取り組んでいる。	●		電子カルテを導入、勤怠管理、給与関連の電子化を行っている。																8	9.1		11	12								
	21	【プライト企業】 ・プライト企業に認定されている。	●		2019年11月にプライト企業に認定されている。																	3	4										

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会医療法人 潤心会 熊本セントラル病院

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																	
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
環境	22	【環境汚染予防】 ・廃棄物や有害化学物質の適切な管理、及び処理に取り組んでいる。	●		産業廃棄物・医療廃棄物のマニフェストの管理を行っている。			3.9			6.3					11.6	12.4		14.1	15.1			
	23	【エネルギー】 ・電力やガソリンなど、自社のエネルギー使用量を把握し、その削減に取り組んでいる。	●		電力、ガソリン、ガスの使用量を把握し、空調オンデマンド装置設置やLEDの使用を徹底し、節電等に取り組んでいる。							7.3						13					
	24	【温暖化対策】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる。	●		年度実績等を簡易計算シート等を用いてCO2排出量を算出し、年々減少出来るよう、空調オンデマンド装置設置やLEDの使用を徹底し、排出抑制に取り組んでいる。		2.4					7.2 7.3 7.a				12.4	13	14	15				
	25	【生物多様性】 ・自社活動が環境(生物多様性や生態系等)に悪影響を及ぼさないように配慮している。	●		産業廃棄物の分別の細分化や、CO2排出量削減に取り組む、日常業務における環境への悪影響を及ぼさないようにしている。						6.6								14	15			
	26	【効率的な資源利用】 ・ごみを減らし、資源を有効的に繰り返し使うため、発生抑制(リデュース)、再使用(リユース)、再生利用(リサイクル)に取り組んでいる。	●		産業廃棄物の分別を細分化し、可燃ごみの減少を行っている。また、チューブファイル等の再利用化も行っている。また情報管理の電子化等によるペーパーレス化にも取り組んでいる。									9.4			12.2 12.4 12.5		14.1	15			
	27	【水の管理】 ・熊本の水資源の質と量の保全に取り組んでいる。	●		トイレや手洗い用等は地下水を使用し、上水道の使用量を減少させている。また、トイレは節水型トイレを使用しているため、地下水の節水もしている。		2.4				6.1 6.3 6.4 6.6				11.5				14.1 14.2 14.3	15		17	
	28	【環境に配慮した製品等】 ・環境に配慮した製品の購入や製品の開発・製造に取り組んでいる(グリーン購入、リサイクル製品認証等)。	●		コピー用紙やスティックのりはグリーン購入法適合品を使用している。また、ペーパータオルは古紙再生紙100%の製品を使用している。									9.4			12.4 12.5	13	14	15			
	29	【食品ロスの削減】 食品ロスの削減に取り組んでいる。	●		災害用食品について、フードバンクを活用し、廃棄する食品が出ないようにしている。	1	2				6.4							12.3		14	15		17
	30	【緑の保全管理】 ・壁面緑化や植栽など緑の創出と保全、管理に取り組んでいる。	●		敷地内には、花壇整備・植樹をし適正に管理している。												11.6 11.7		13.1 13.3		15		17
	31	【エネルギー効率の見直し・再生可能エネルギーの利用】 ・高効率機器の導入等によるエネルギー使用率の改善または再生可能エネルギーの利用や供給に取り組んでいる。	●		全熱交換換気扇を設置しており、換気による温度変化を抑えることにより、空調機の負担を減らし、電気使用量の抑制に取り組んでいる。							7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.5		13.1 13.3					
	32	【森林資源の循環利用に向けた取組み】 ・“伐って、使って、植えて、育てる”の持続的な森林利用への取組みを推進している。	●								6			9.4		11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	33	【植林等の取組み】 ・植林等の森林整備活動に取り組んでいる。	●								6.1 6.3 6.6					11.3 11.4 11.5	12.2	13		15			
	34	【海洋ごみ】 ・環境中で分解しにくいプラスチックの使用削減等、海洋ごみ、海洋汚染の防止削減に貢献している。	●		院内売店のレジ袋を有料化しており、マイバックを推奨している。												12.2 12.5		14				
	35	【環境に配慮した交通手段】 ・電車やバスなどの公共交通機関の利用や、電気自動車や水素自動車などの環境にやさしい自動車の使用を促進している。	●											9.4		11.2		13.1 13.3					
36	【2050年CO2排出量実質ゼロへの取組み】 ・2050年CO2排出実質ゼロを目指し、計画的にCO2削減に取り組んでいる。	●										7.1 7.2 7.3 7.a		9.4		11.6 11.a	12.8	13				17.2	

SDGs達成に向けた取組みチェックリスト

事業者名: 社会医療法人 潤心会 熊本セントラル病院

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。

(様式第2号)

分類	No.	チェック項目	基本	チャレンジ	具体的な取組み (※事業者が記載する欄)	主なSDGs(17のゴールと169のターゲット)																						
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
製品・サービス	37	【製品・サービスの安全性と品質】 ・製品・サービスの安全性や品質を確保する仕組みを構築している。	●		入院患者さんにアンケートを実施し、サービス向上委員会にて協議を行い、課題を共有化し、改善に努めている。			3.9							9					12.4								
	38	【ユニバーサルデザイン】 ・障がい者、高齢者に特定せず、誰もが利用しやすいサービス提供や環境整備を行っている。	●		点字ブロック等、建物全体にユニバーサルデザインを取り入れている。										9.1	10	11.7											17
	39	【地域資源】 ・地産地消を推進し、熊本県産の原材料を優先的に使用している。		●				2.3 2.4					7.3	8	9			11.a	12.3	13	14	15						17
	40	【木質化の取組み】 ・自社の執務室等の天井や床、壁等の内装や外壁等に木材を使用し、木質化を推進している。		●									7						12.2	13.1			15					
	41	【社会課題解決】 ・社会課題を解決するための製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる。		●	様々な社会的背景を抱えた患者が気軽に相談できるよう、総合受付隣に「患者相談窓口」を設置している。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	42	【攻めの農林水産業】 ・地域における産学官連携等による新たな品種開発を促進するなど、地域レベルで農林水産業の生産能力向上に努めている。		●				2.3 2.4						8.2	9.2 9.4		11.a	12.2			14	15						17
持続可能な社会・地方創生	43	【地域への参画】 ・自治活動や福祉活動、防災活動や寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。	●		敷地内の除草作業について、地元の自治会へ委託を行い、地元との交流を深めている。	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	44	【防災、減災、レジリエンス(自助)】 ・過去の地震や水害などの災害を教訓に、事業への被害を防止・軽減するため、ハザードマップを確認し、避難行動計画や事前防災対策を進めている。	●		定期的な避難訓練を行っている。 非常食や飲料水等の災害備蓄品を常備している。				4								11.5			13.1						16		
	45	【防災、減災、レジリエンス(共助)】 ・地域防災の担い手としての認識を持ち、防災士、水防団員、救助救急等の必要な技能を持つ社員を育成したり、地域消防団の活動に参加している。		●		1.5		3	4							10.2	11.5			13.1					16	17		
	46	【防災関連商品の開発・販売】 ・防災関連商品の開発・販売を促進している。		●											9		11	12	13.1									
	47	【SDGsの普及啓発】 ・環境問題や人権問題をはじめとした社会課題の解決に向け、SDGsの普及啓発や教育機会の提供を行っている。		●		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17						
	48	【インターンシップ等の受入れ】 ・職場体験、インターンシップの受入れ、職場関連授業の実施など、地域の児童や学生に対し、職業の学びの場を提供している。		●	地元の中学生、高校生の職場体験の受け入れを行っている。小学校に出向き看護師の仕事等の講話を行っている。				4						8.6		10.2										17	
	49	【若者の地元定着等】 ・若者の県内就職を促進する取組みを行っている。		●	地元の高校、大学等の学生を積極的に雇用している。				4.4						8.5 8.6												17	
	50	【農林水産業の担い手確保】 ・子どもに対する農林水産業教育を行うなど、地域における農林水産業従事者の確保に取り組んでいる。		●				2		4.3 4.4 4.5					8.6		10.2		12	13	14	15					17	

・基本項目は25項目全てに、チャレンジ項目は25項目のうち5項目以上に具体的な取組みを記載してください。
 ・「企業」や「社内」とあるものは、NPO法人や個人事業主等はそれぞれの形態に応じて、読み替えてください。
 ・【予定】の項目は1年以内に【〇年〇月実施】として、具体的取組みを記載のうえ、提出してください。